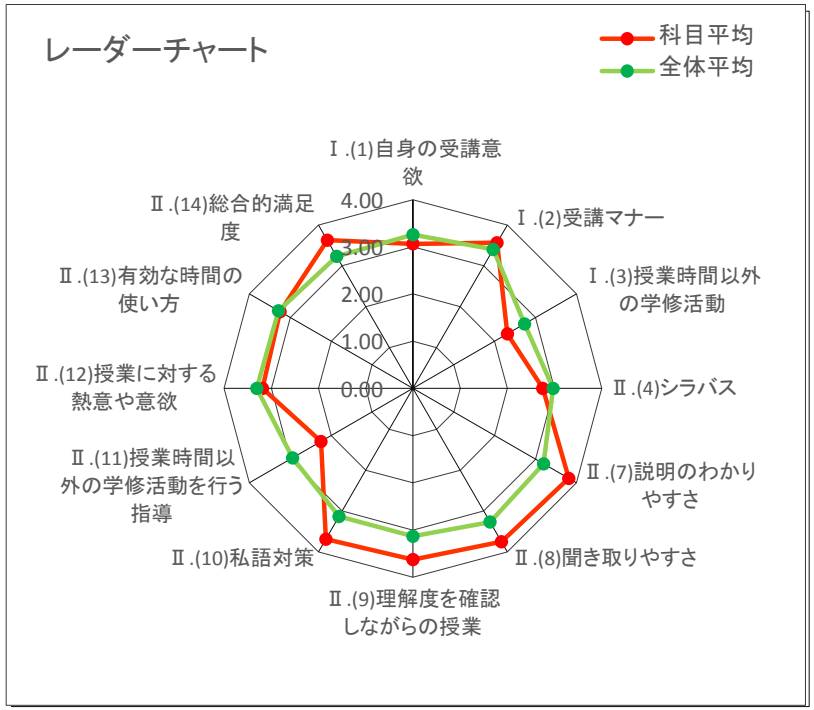
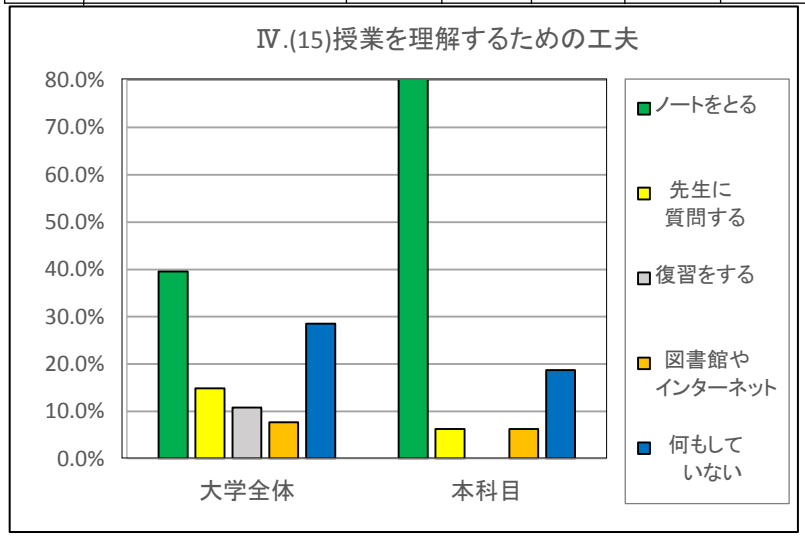
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.06	3.26
	Ⅰ.(2)	3.56	3.40
	Ⅰ.(3)	2.31	2.73
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	2.75	2.97
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.81	3.20
	Ⅱ.(8)	3.75	3.27
	Ⅱ.(9)	3.63	3.13
	Ⅱ.(10)	3.69	3.13
	Ⅱ.(11)	2.25	2.94
	Ⅱ.(12)	3.19	3.31
	Ⅱ.(13)	3.25	3.29
満足度	Ⅱ.(14)	3.63	3.23

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2,（あまりそう思わない）、1（そう思わない）

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(15)	授業を理解するための工夫	81.3%	6.3%	0.0%	6.3%	18.8%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	2.98	3.13
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(13)	3.29	3.15
総合的満足度 Ⅲ.(14)	3.63	3.23

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2014年度　前期
時間割番号	34201
科目名	生活と環境
教員名	

①授業計画の達成度について

シラバスには授業展開や目的を記しているが、必ずしもその内容を十分理解した上で受講したわけではないことが伺える。講義冒頭において今後の授業展開を示し、当日の講義概要を説明するなど、受講時に授業計画を把握できるように配慮した。しかし、シラバスは授業選択の重要な資料であることから、シラバスにおいても授業計画を十分に把握できるよう、その記述方法については再検討する必要がある。本講義は、日常生活に関わる環境問題等を取り上げ、理系的な視点から環境への理解を深めていく科目である。理系的な要素が含まれているものの、「難易度が高い」と感じた受講生は多くなかった。今後とも、授業内容をわかりやすく伝える方法を工夫し、身の回りの環境へ興味・関心を高めていきたいと考える。

②授業の進め方について

「説明のわかりやすさ」や「聞き取りやすさ」に関しては、「やや」も含めて9割程度の受講生が「わかりやすい」と答えた。また、「私語対策」に対しても、約9割の受講生が評価していることから、授業環境を維持し、授業内容をわかりやすく伝えることはできたものと考えられる。その結果として、「総合的満足度」は比較的高い値を示している。ただし、「授業時間以外の学修活動」やそれを促す指導が不足したことが指摘されている。今回の講義では、授業時に小課題を課すことはあったが、授業後に取り組むことができる課題を提示することはほとんどなかった。授業外での受講生の学修活動を活性化させ、自発的な学修態度を身に付けさせるためにも、何らかの仕掛けを用意する必要がある。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

今回の講義では、私語の少ない静穏な授業環境を維持することができたとともに、難解になりがちな理系的な講義内容をわかりやすく伝えることができたものと考えられる。授業満足度に対しても比較的高い評価がなされているが、授業外での自発的な学修を促すことができておらず、本講義の主要な題材である「環境」への興味・関心を実際に高めることができたのかには疑問が残る。今後は、授業中における発問を増やし、自ら考える機会を適宜設けるほか、授業外で取り組むことのできる小課題を用意することも考えていきたい。また、理系的な専門事項を伝える際には、その意味や内容を丁寧に説明し、十分に理解するための時間的余裕を設けていく。

奈良学園大学